工業っ子

No. 140
—発行日—
2016. 10. 29
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

平成２８年体育祭

M科三連覇達成！

～今後の課題も多！来年はよりよい采配を～

　十月九日に行われた体育祭。前日の雨から一転、絶好の体育祭日和となりました。早朝からの設営にも全校生徒の力が結集。各科が力一杯競った体育祭。振り返ってのインタビューです。

▶優勝台、凛々しく立つ

実行委員長平野くんに聞く

苦に勝る感動

　体育祭実行委員長として全体をまとめたP３平野大地さん。体育祭終了後に平野さんに今年の体育祭を振り返ってみての想いなどを聞いてみました。

Q体育祭を終えての感想

―つらいときも多かったですが、終わってみると、やりとげた感動のほうが大きかったです。

Q終えての反省点は。

―終わりよければ全て良しということではないということが分かりました。

Q来年向けて一言

―来年の実行委員たちはとにかく頑張れ！

　去年から新たな試みとして始まった生徒を主体とした体育祭。生徒が主体ということもあって、体育祭のすべては生徒に委ねられました。今年は去年より短い準備期間ということもあって生徒全体も焦っていました。科の練習や競技の練習があるなか、一所懸命に体育祭を成功に導いた平野さんをはじめ、体育祭実行委員の皆さん本当にお疲れさまでした。

▼体育祭運営お疲れさまでした

反省を以て来年に生かす

質問内容
各科リーダー生徒に
①体育祭を終えての感想
②満足度
③反省
④来年に向けてのアドバイス
⑤後輩へ一言
先生に―
①感想
②反省
③来年に向けて

総合優勝 M科

あっぱれ！三連覇

M科　川口瑞輝さん
①三連覇できて非常に嬉しい。
②百二十点。
③全てでトップになることができなかった。
④体育祭に割く時間を増やして、早い段階から練習できるようにして欲しい。
⑤来年はぜひ、四連覇してほしい。

M科主任　岩田先生
①生徒が頑張ってくれた。
②選手決めの際それぞれにあった競技を決められなかった。
③四連覇。

▲三連覇に向けて、気合いの舞！

行進優勝 P科

意識高く行進三連覇！

P科　中村唯人さん
①応援幕で優勝できなかった理由がわからない
②百四十一点
③パレードをもっとかましたかった
④見えてないところがあるから全体的に見て欲しい
⑤行進を4連覇して欲しい。次はパレードをかましてほしい

P科主任　上野先生
①みんなよく頑張っていたけど、最初の目標のバカになろうは守れていたと思う。
②団体競技でまとまれたらよかった。
③もっとバカになろう！

パレード優勝 A科

優勝を伝統に！

▲手高く、足高く、声大きく！

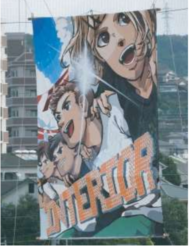
A科　前田拓海さん
①全員が実力をだしたが、優勝できず悔しい。
②九十九点（来年の期待含めて）
③行進をもっとしっかりしたがいい。
④日程が変わりすぎたので、もっとしっかりしてほしい。
⑤来年は必ず優勝して、伝統になるようにしてほしい

A科主任　大槻先生
①残念でしたが、生徒達もよく頑張ってくれた。
②競技で一位になりたかった。
③来年こそは総合優勝！機械科を倒す。

応援幕優勝 I科

結果がすべてではない

▼見後な演技に絶賛の声



圧巻の応援幕▶

I３　松林幸汰さん
①パレードは取ることができなかったが、結果がすべてではなく、そこまでの過程が大切だと思うので、とてもいい思い出になった。
②八十パーセント。
③初めから余裕が持てず、つめてやってしまった所。
④運営は最高でした。
⑤すべての賞を勝ち取ってください。

I科主任　北川先生
①頑張る生徒を見ることができて幸せだった。
②ないくらい頑張っていた。
③もう少し競技で頑張ってほしい。目指せBクラス。でも、頑張ってきている。

自分を大切にする心を

　学生である以上、必ずと言っていいほど付きまとう「勉強」「資格試験」などなど。「良い成績を取らなきゃ」「資格試験に落ちるわけにはいかない」との思いすぎが『ストレス』になったことはありませんか。

　また、日常生活の中でも、いろいろな『ストレス』があります。どうしても合わない人や雰囲気に息苦しさや苛立ちを覚える『ストレス』。何を『ストレス』に感じるかは人それぞれです。

　しかし、思いやり一つで解消できる『ストレス』もあります。

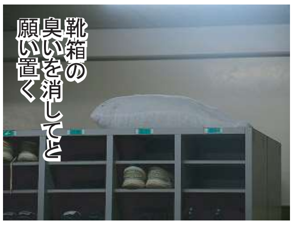
　たとえば作業をしているときに、話しかけられたり周りで騒がれたりしたときに起きるイライラ。授業中にここはしっかり聞かなきゃと思っているときに聞こえてくるおしゃべりで集中できないとき。自分としては何気ない気持ちで誰かに話しかけたり、悪気無く楽しく友達と騒いでいる時にそう思っている人がいるかもしれないと想像してみるのです。そう思いやることで無自覚で他人にストレスを与えることをなくしていくことができます。一人一人がそんな思いやりをもてば、それは、巡り巡って自分のストレス軽減にも繋がります。そうすればきっとクラスの雰囲気も良くなっていくはず…。「情けはひとのためならず」という言葉のように、人が集団の中で生きていく上で『思いやり』は大切です。

　勉強に関するストレスは自分で乗り越えなければいけませんが、人付き合いは一人では乗り越えられないこともあります。そんなときは人で悩まないで、誰かに相談してみることが大切。話せる人がいないときは、ストレスを解消する方法を探すのもひとつの手。大事なのは自分を大切にすること。そして自分を大切にする心は他者を大切にする心に繋がるはずです。（上杉）

今日の一枚

～現れたもの～

▼ 消臭効果に期待大！？



　さて、今日の一枚は靴箱の上に出現した袋です。教室の窓を開けると風にのってやってくる「靴箱の臭い」。どうにかできないものか新聞部でトライ。中身には建築研究部で出た木屑を詰めています。実際に効果があるかは経過を見て試行錯誤、改良を加えていきたいと思います。これからもちょっとした工夫でよりよい学校づくりに貢献できることがあれば挑戦したいと思います。新聞部はより良い学校生活を皆さんに提供します。（溝上）

青春日記

　朝晩の冷え込みに私が耐えられるはずもなく、毛布様のあつい抱擁に身を任せ「あと少しだけ…」気付けばバスを一本遅らせる悪習慣。

　先日、念願？のスマホ買い替えを果たしました。先代の携帯を使い続けることはや二年。高校生になると共に持ち始めた初めてのスマホ。思い出深いこいつともお別れし、機種変更を決意。ただ、どうしても譲りたくなかったのがアイフォンにはしないこと。周りの大勢がアイフォンという時代に逆らいたいやんちゃ心というか、一種の意地というやつでしょうね。

　結局、今までの機種の最新作にしたのですが、なんとカラーが黒と白、そして緑。「おぅ…」とバリエーションの少なさに悲しみつつも安定の緑を選択。友人たちは口を揃えて「えぇ…」と引き気味の反応を頂きました。なんで？？。

　現在、新聞部では文化祭の新聞展示・薔薇アートに向けて目下製作中。去年の文化祭から丸一年で発行した新聞を展示するわけですが、驚くべき事実を知りました。発行数が…増えてる！！？。このままではきっと週刊紙「工業っ子」が誕生してしまう。読者の皆さんには嬉しいかもしれないが、私、今の私たちには少し負担が大きすぎる…。というわけで、部員を募集しよう。部活を引退した三年生、何らかの理由で転部を考えている君！「うち（新聞部）に来ないかい？」。私たちと一緒に、新聞部ライフをおくろうじゃないか。

　少しでも、気になった方は放課後「第二選択教室」か、国語科の恵美子先生まで。（松尾）

CEDJ
は裏面に
あります

練習は大事 C科

C科　岩永大聖さん

①ちゃんと練習して綱引きは一位、パレードは三位を取れてよかった。
②八十点。
③もう少し早くから夏休みから練習するべきだった。
④結果が出るのが遅かったから速くしてほしい。
⑤来年は夏休みからパレード等に取り掛かり優勝めざして頑張って下さい。

C科主任　田上先生

①パレードで三位を取れて嬉しかった。綱引きで勝ち残ったこと。
②リレーなどの競技でもっと頑張ってほしい。
③今年以上の成績を取ってほしい。

▲皆で仲良く楽しく！

迫力ある競技 E科

Ｅ３　山崎頼平さん

①楽しかったけど、結果に満足がいかない。
②０点。
③競技練習の時間をもっと確保すれば良かった。
④採点の基準を教えてほしい。
⑤焼肉がとても美味しかったです。

E科主任　西先生

①迫力とまとまりがあってよかった。
②特になし。
③現状維持。

▲足並みそろえてワンツー！

炸裂！倉本Tパワー D科

Ｄ３　山内洸季さん

①百二十点
②特にない！
③自分だけでなく、クラスメイトに頼ること。
④来年見に来るから、俺ら以上の賞を期待してる。

D科主任　倉本先生

①よく頑張りました
②日頃の練習不足・体力タフネス無し
③次は八十周年、「電子工学科ここにあり！」を見せてください

倉本先生、おめでとうございます！▼

楽しむことが一番！ J科

Ｊ３　松島謙さん

①楽しめたのでよかった。
②百点　やることはやった。
③競技の人選ミス。
④行進を一回しか練習出来なかったので、もっと練習を重ねたかった。
⑤先輩達の低いハードルを高く越えてください。

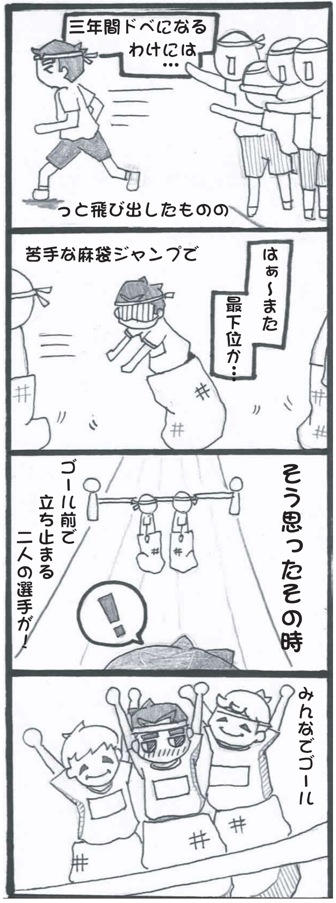
J科主任　山口先生

①おつかれさま
②協力して活動していたのでよかった。
③来年は賞をとれるように頑張ってください。

▲イケメン勇者現る！

体育祭編 てふ五生！！！ パート②

～三年目の大障害走～



三年間ドベになるわけには…
っと飛び出したものの
苦手な麻袋ジャンプで
はぁ～また最下位か…
そう思ったその時
ゴール前で立ち止まる二人の選手が！
みんなでゴール

※友情って美しい…めでたしめでたし

☆みごと、県展入賞！

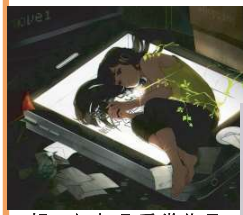
見える光景　見えない風景　鮮明に描く

美術　工科徳久柊子さん

第六十一回県展デザイン部門で、Ｉ３の徳久柊子さんが毎日新聞社賞を受賞しました。出品した作品名は「スマホの中で生きています」。スマホ依存症をテーマに描かれたこの絵からは、現代の人へ向けてスマホ依存の恐ろしさを表現、訴えかけているようでした。

この受賞について、徳久さんは「植物の蔦が絡まっていて、身動きができないところをこだわりました。県展で賞を取ることが目標だったので嬉しかった。もっと上の賞を取りたかった」と喜びを見せる反面、悔しさを語る一面もありました。また、制作期間中に苦労したことを聞くと「製作期間が二日間だったのですが、決して長い期間とは言えなく、短い制作時間の中で集中力を持続させるのにとても苦労しました」というエピソードを聞くことができました。

そして、後輩へのアドバイスとして「描くだけではなく、他の人の作品を見て、色々学んでください」と話してくれました。学生だけでなく、一般の方も出品する県展で受賞された徳久柊子さん。おめでとうございます。美術部の一、二年生にバトンを託すその想いをぜひ、受け継いでください。



▲想い伝わる受賞作品

笑顔の徳久さん▶

なりたい自分になるために

人生の達人セミナー

十月十二日に「未来を創る！～なりたい自分をデザインする～」の演題で行われた人生の達人セミナー。講師の有馬仁志先生は島原工業高校機械科出身で、現在さまざまな分野で活躍されています。有馬先生に講話の後、お話を伺いました。

Ｑ長工の印象は。

―礼儀正しく態度が良い。学校も隅々まで掃除が行き届いている。

Ｑ工業高校生の強みはどんなところですか。

―知識の幅が広く、基礎ができているため若い内からいろんなことに応用が利くところ。

Ｑ工業人に必要なことはどんなことですか。

―社会との繋がりを持ち、何事にも興味を持ち、調べ考えること。そうすることで物事を立体的にとらえることができる。

▲目標が実現されつつある

Ｑ今後有馬さんの目指す自分像はどういった自分ですか。

―いずれは教育にたずさわりたいと考えていた。そのようななか、社会貢献として自分の人生での経験を企業や教育機関で伝える活動が今、できていて目指すものが実現されつつある。

▲講演される有馬仁志さん

Ｑ最後に長工生に一言お願いします。

―自分の考えを人に伝えるために、コミュニケーション能力をつけて欲しい。また、今回のことを、成りたい自分になるために役立てて欲しい。

なりたい自分を描くことで目標を達成しやすくなることを学んだ今回のセミナー。今後の高校生活に生かしたいところです。

シリーズ ロボコン道⑨

Are you ready?

▶調整終わりました、あとは練習！

ロボコンの全国大会が徐々に近づいてくる中、現在はロボットの微調整中です。一度ロボットの製作が終わったとしても、練習を重ねているうちに部品などが摩耗して壊れる可能性があります。摩耗による僅かなずれで正常に動かないということがあります。ということで、予備の部品を作ったり、より操縦者に負担をかけたりしないように調整を行っています。

全国大会では強い高校のロボットを見て、これからのロボ研に生かしていきたいと思います。

（草場）

スポーツトピック みんなでつなぐラグビー

十月三十日に全国高等学校ラグビー長崎県大会の一回戦が放虎原ラグビー場で行われます。対戦相手は長崎南高校。

ラグビー部部長、Ｅ３富安大伸さんに意気込みを聞くと「長工のラグビーは皆でつなぐプレーが強み。試合前にはチームで決めている練習をしています」そんな長工ラグビー部のライバルは大村工業高校。「目標はベスト８。南山に勝ってベスト４にはいり、目指せ優勝！」と熱い想いも。

また、チームのメンバーには「きつい時もあるが、最後まで諦めずに頑張りましょう」と激励の言葉をおくりました。目標の達成を目指し、悔いが残らない試合をしてください。応援しています。

▲壮行式にて

一年生な☆日々

中学生の時水泳部で一緒に活動していた仲間からＬＩＮＥグループへの招待が来ました。「またみんなで集まりたい」とのことで、グループを作成です。しかし、あれからずいぶん経っているのにいまだ連絡がありません。記事でも書いて気長に待とうかな（遠い目）。まさかこんなハイペースで新聞を発行するとは思っておらず、前号を発行した後、文化祭前にもう一つ発行すると聞いた時は発狂しました。はい、発行だけに。

もうすぐ文化祭ですね。準備の進捗はどうですか。もちろん新聞部はダメダメです。この調子で間に合うのでしょうか。まぁ、「時間が無いから」と手を抜くよりは当日ギリギリまで粘って良い作品を作りたいですもんね（ポジティブシンキング）。私は中学一年生の時、小学校での生活との変わりように驚き、よく体調を崩していましたが、高校一年生の生活はそのようなギャップを感じることもなく、今まで無遅刻無欠席を保っています。

体育祭も終わって間もないですが、季節の変わり目で体調を崩しやすい時期です。体に気を付けて、限られた時間で集中して、終わった時に「楽しかった」と思える文化祭にしましょう。

（渡辺）

編集後記

文化祭の忙しい時期と重なり、号外と並行作業でドタバタしながら発行することとなった今号。体育祭の話題を今頃お届けすることになり申し訳ありません。文化祭の話題はできるだけ早く発行できるように新聞部一同頑張ります。